

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-296586

(P2005-296586A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005. 10. 27)

(51) Int. Cl.⁷

A47G 33/00

F I

A47G 33/00

J

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2004-147019 (P2004-147019)
 (22) 出願日 平成16年4月13日 (2004. 4. 13)

(71) 出願人 000171263
 今中 俊雄
 奈良県天理市竹之内町2 6 1 番地
 (72) 発明者 今中 俊雄
 奈良県天理市竹之内町2 6 1 番地

(54) 【発明の名称】 お守り類

(57) 【要約】

【課題】 寺社以外の店舗で販売されるお守り類は、寺社で販売されるお守り類に比較して、お守り的な商品価値が劣ることは否めない。

そうした欠点をカバーする手段として、お守り類に祈禱済みである旨の表示をする例もあるが、お守り類のデザイン性を損なうという欠点や、視認性が悪くアピール度が低い、という欠点などがあった。

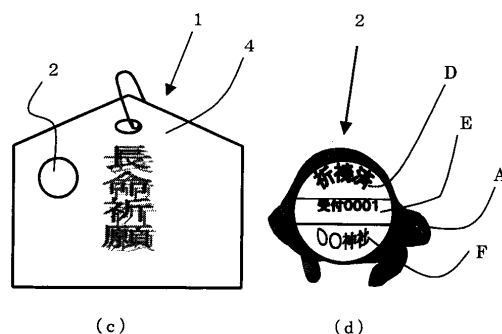
本発明は、上記した従来方法の欠点に鑑み、お守り類のデザイン性を損なわず、視認性が良くアピール度の高い表示方法で表示されたお守り類を提供しようとするものである。

【解決手段】 上記課題を解決するため、本発明のお守り類では、お守り類に関する表示事項を、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークで表示する。

また、上記お守り類のお守りマークに管理番号を付ける。

また、お守りマークを、お守り類の展示具に表示する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

お守り類に関する表示事項を、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークで表示したことを特徴とするお守り類。

【請求項 2】

お守りマークが、管理番号を付したものであることを特徴とする請求項 1 記載のお守り類。

【請求項 3】

お守りマークが、お守り類の展示具に表示されたものである請求項 1 又は請求項 2 記載のお守り類。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、お守り類に関する表示事項を、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークで表示したお守り類に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

お守り類に関する表示事項の表示方法として、祈祷済みであることを購入者・譲受者が認識できるよう表示する方法の先行技術として、織りネームまたはノボラベル類の表面に、祈祷句・祈祷語・お守り等の表示をする「衣類商品および衣類商品の販売・譲渡方法」がある（例えば、特許文献 1 参照）。

また、お守り類に関する表示事項の表示方法として、祈祷を受けた旨の文言を明記する方法の先行技術として、ボサに祈祷を受けた旨の文言を明記する「腕輪念珠及び証書付き腕輪念珠」がある（例えば、特許文献 2 参照）。

また、表示部の周縁に模様を設けたお守り類の先行技術として、本体部の周縁に蝙蝠の動物図からなる透模様を設ける「護符」がある（例えば、特許文献 3 参照）。

【特許文献 1】 特開 2002-317310 号公報（請求項 1～11、図 1～7）

【特許文献 2】 実登 3092631 号公報（請求項 2、図 2）

【特許文献 3】 実登 3071701 号公報（請求項 9～12、図 1～2）

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

寺社以外の店舗で販売されるお守り類は、寺社で販売されるお守り類に比較して、お守り的な商品価値が劣ることは否めない。

そうした欠点をカバーする手段として、お守り類に祈祷済みである旨の表示をする例もあるが、お守り類のデザイン性を損なうという欠点や、視認性が悪くアピール度が低い、という欠点などがあった。

本発明は、上記した従来方法の欠点に鑑み、お守り類のデザイン性を損なわず、視認性が良くアピール度の高い表示方法で表示されたお守り類を提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

上記課題を解決するため、本発明のお守り類では、お守り類に関する表示事項を、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークで表示する。

【0005】

また、請求項 1 のお守り類において、お守りマークに、管理番号を付ける。

【0006】

また、請求項 1 又は請求項 2 のお守り類において、お守りマークを、お守り類の展示具に表示する。

【発明の効果】**【0007】**

10

20

30

40

50

本発明でのお守りマークは、縁取り全体で一つの絵を形成するので、縁取りの絵が何の絵か認識することが容易であり、視認性に優れ、アピール度が高いので、表示部に表示されるお守り類に関する表示事項をアピールするためのマークとして利用できる。

従って、本願請求項1によるお守り類は、お守り類に関する表示事項を、上記お守りマークで表示するので、従来方法により表示をしたお守り類に比べ、視認性に優れアピール度の高いお守り類を提供することができる。

また、お守りマークで表示することにより、お守り類のデザインとの融合化を図りやすく、お守り類のデザイン性を損なわない。従って、従来方法により表示をしたお守り類に比べ、デザイン性に優れたお守り類を提供することができる。

また、お守りマークは、表示部の外側に動物などを象る絵を形成する縁取りを設けるものであるから、表示事項を表示する機能を備え、かつ、視認性に優れ、アピール度が高い付加的な装飾物として利用することができるほか、お守りマークそのものだけを表示したお守りとしても利用することができる。

また、お守りマークは、任意な絵を選択して縁取りとすることができるので、その縁取りの絵を、お守りの効果や祈願的效果を付加する絵にすることができる。

例えば、絵を形成する縁取りを梟（不苦労）の絵にした場合、苦労しないためのお守りになるというような意味付けをすることができ、蛙の絵にした場合、無事帰るためのお守りになるというような意味付けをすることができる。

従って、お守りマークそのものを、お守りの効果や祈願的效果を付加する物として利用することができると共に、そのお守りの効果や祈願的效果を、絵を変えることにより変化させることができる。

本願請求項2によるお守り類は、お守りマークに管理番号を付してあるので、お守りマークの数値的管理に好都合であると共に、お守りマークが不正に使用されるのを防止したり、抑止したりする効果がある。

本願請求項3によるお守り類は、お守りマークが、お守り類の展示具に表示してあるので、販売時の展示中にも、汚損を防止しながら、お守りマークの表示をアピールすることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0008】

本発明請求項1のお守り類は、お守り類に関する表示事項を、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークで表示したお守り類である。換言すれば、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたお守りマークの当該表示部に、お守り類に関する表示事項が表示されたお守り類である。

本発明でのお守り類には、お守り、祈願札、護符、厄除け札などのほか、お守り類に関する表示事項をお守りマークで表示した物を含む。

本発明でのお守りマークとは、表示部の外側に絵を形成する縁取りを設けたマークをいい、その表示部には、お守り類に関する表示事項が表示される。なお、表示部には、お守り類に関する表示事項を表示のうえ、お守り類に直接的に関表のない事項、例えば、PR語句を表示することもできる。

絵を形成する縁取りとは、縁取り全体が、模様ではなく、一つの絵を形成する縁取りをいい、その絵を形成する縁取りは、例えば、動物などを象るようにデザインされる。

また、絵を形成する縁取りは、任意な絵を選択して縁取りとすることができるが、縁起が良いとされる絵など、お守りの効果や祈願的效果を付加する絵にすることが望ましい。例えば、絵を形成する縁取りを梟（不苦労）の絵にした場合、苦労しないためのお守りになるというような意味付けをすることができる。

その他、お守りの効果や祈願的效果を付加する絵には、例えば、蛙（無事帰る＝旅行用のお守り）、亀（長寿＝長命祈願）、鼎（カナエル＝成就祈願）、狸（他を抜く＝勝利祈願）、などの絵がある。

お守りマークの表示部には、前記したように、お守り類に関する表示事項が表示されるが、その表示部は○や形など任意な形状に形成することができる。

また、お守りマークの表示部は、絵を形成する縁取りと明確に区分できるようにすることが望ましい。

お守り類に関する表示事項には、例えば、祈祷済みである旨の表示や祈願する旨の表示のほか、お守り種別名、寺社名称、番号、お守りの効果、などがある。

祈祷済みである旨の表示は、例えば、祈祷済み、祈願済み、祈祷入りなどの語句で表示することができる。

祈願する旨の表示は、祈願する意思表示としての「祈願」という語句や、祈願する目的の語句、例えば、交通安全、長寿祈願、開運、合格、などで表示することができる。

お守り種別名は、例えば、お守り、祈願札、開運うちわ、合格絵馬、護符、厄除け札などの語句で表示することができる。

10

寺社名称は、○○寺、○○神社などと表示することができる。

番号は、数字の他、例えば、「受付」や「承認番号」などの語句を付記することができる。

お守りの効果は、例えば、無事カエル、カナエル、他を抜く、などの語句で表示することができる。

お守り類へのお守りマークの表示は、お守り類がキャラクター人形のような立体的なお守りである場合、例えば、金型作成時に金型にお守りマークを形成する方法により表示することができる。

また、立体的なお守りの場合には、お守りマークを表示したシールを作成し、当該シールを貼付する方法も採択できる。

20

また、お守り類がプレート状やシート状のお守り類の場合には、お守りマークをプレート状やシート状のお守りに印刷により表示する方法が有効である。

また、お守り類がプレート状やシート状のお守り類の場合には、お守りマークをスタンプなどの印章にし、当該スタンプなどを押印して表示することもできる。

本発明請求項2のお守り類は、お守りマークに管理番号を付したものである。

管理番号とは、例えば、受け付け番号、承認番号、祈祷番号などをいい、お守りマークに関して数値的管理をするために付す番号をいう。

本発明請求項3のお守り類は、お守りマークが、お守り類の展示具に表示されたものである。

お守り類の展示具とは、装飾時や販売時に展示するための用具をいい、お守り類を飾る台座、お守り類を収納するケース、お守り類を包装するパッケージ、などをいう。

30

【実施例1】

【0009】

以下図面に基づいて実施例を説明する。

図1は、請求項1によるお守り類の平面図である。

お守り類1の表面に、お守りマーク2が表示されている。

お守り類は、プラスチック製のプレート3に、旅行護符と表示されている。

また、プラスチック製のプレート3の上部には、貫通孔が設けられ吊下げるための紐が取り付けられている。

図(b)は、図(a)のお守りマーク2の拡大図である。

40

お守りマーク2は、表示部として設けられた白抜きにされた○の図形の外側に、縁取り全体で一つの絵を形成する縁取りAが設けられている。

絵を形成する縁取りAは、望ましい実施例となるよう「お守りの効果を付加する絵」として、蛙の絵にデザインされている。

表示部として設けられた白抜きの○の中には、上段部に祈願する旨の表示Bとして「祈願」の語句が表示されている。下段部には、お守りの効果Cが「無事カエル」と表示されている。

蛙の絵を形成する縁取りを設けたマークが、興味を誘う付加的装飾物となると共に、無事帰るに通じて旅行護符の祈願的效果を付加する働きをする。

実施例のお守り類は、おみやげ店で販売するアクセサリや旅行代理店が旅行契約者に

50

渡す景品として好適である。

【実施例 2】

【0010】

図 2 は、請求項 2 によるお守り類の平面図である。

お守り類 1 の表面に、お守りマーク 2 が表示されている。

お守り類は、木製の絵馬型プレート 4 に、長命祈願と表示されている。

また、木製の絵馬型プレート 4 の上部には、貫通孔が設けられ吊下げるための紐が取り付けられている。

図 (d) は、図 (c) のお守りマーク 2 の拡大図である。

お守りマーク 2 は、表示部として設けられた白抜きにされた○の図形の外側に、縁取り全体で一つの絵を形成する縁取り A が設けられている。 10

絵を形成する縁取り A は、望ましい実施例となるよう「お守りの効果を付加する絵」として、長寿のシンボルとされる亀の絵にデザインされている。

表示部として設けられた白抜きの○の中には、上段部に祈祷済みである旨の表示 D として「祈祷済」の語句が表示されている。中段部には、管理番号 E が「受付 0001」と表示され、下段部には、寺社名称 F として「○○神社」と表示されている。

亀の絵を形成する縁取りを設けたマークが、興味を誘う付加的装飾物となると共に、長寿に通じて長命祈願の祈願的效果を付加する働きをする。

実施例のお守り類は、おみやげ店で販売するアクセサリや老人会向けの景品として好適である。 20

【実施例 3】

【0011】

図 3 は、請求項 3 によるお守り類の平面図である。

お守り類 1 は、展示具 G としての透明のプラスチック製収納ケースに収納されている。

お守り類は、真鍮製の小判型プレート 5 に、商売繁昌と表示されている。

展示具 G としての、透明のプラスチック製収納ケースの表面には、お守りマーク 2 が表示されている。なお、お守りマーク 2 の拡大図は省略されている。

【実施例 4】

【0012】

図 4 は、お守りマークそのものだけを表示したお守り類の平面図である。 30

お守り類 1 の表面に、お守りマーク 2 が表示されている。

お守り類は、プラスチック製のプレート 3 の表面にお守りマーク 2 が表示され、裏面には、係止具 H が設けられている。

お守りマーク 2 は、表示部として設けられた白抜きにされた○の図形の外側に、縁取り全体で一つの絵を形成する縁取り A が設けられている。

絵を形成する縁取り A は、望ましい実施例となるよう「お守りの効果を付加する絵」として、蛙の絵にデザインされている。

表示部として設けられた白抜きの○の中には、上段部にお守り種別名 I として「旅行お守り」の語句が表示されている。中段部には、お守りの効果 C が「無事カエル」と表示されている。下段部には、PR 語句 J が「○○旅行社」と表示されている。 40

蛙の絵を形成する縁取りを設けたマークが、興味を誘うと共に、無事帰るに通じて旅行お守りの祈願的效果を付加する働きをする。

実施例のお守り類は、旅行代理店が旅行契約者に渡す景品として好適である。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図 1】

【0014】

請求項 1 によるお守り類の平面図である。

【図 2】

【0015】

請求項 2 によるお守り類の平面図である。

【図 3】

【0016】

請求項 3 によるお守り類の平面図である。

【図 4】

【0017】

お守りマークそのものだけを表示したお守り類の平面図である。

【符号の説明】

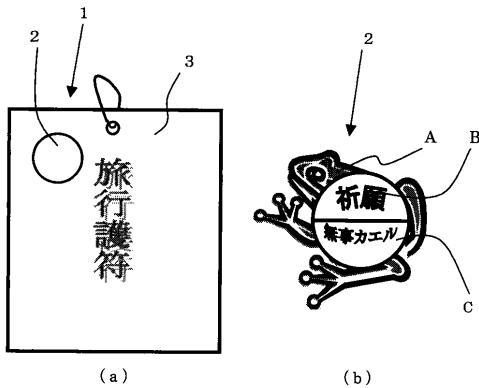
【0018】

- 1 お守り類
- 2 お守りマーク
- 3 プラスチック製のプレート
- 4 木製の絵馬型プレート
- 5 真鍮製の小判型プレート
- A 絵を形成する縁取り
- B 祈願する旨の表示
- C お守りの効果
- D 祈祷済みである旨の表示
- E 管理番号
- F 寺社名称
- G 展示具
- H 係止具
- I お守り種別名
- J P R 語句

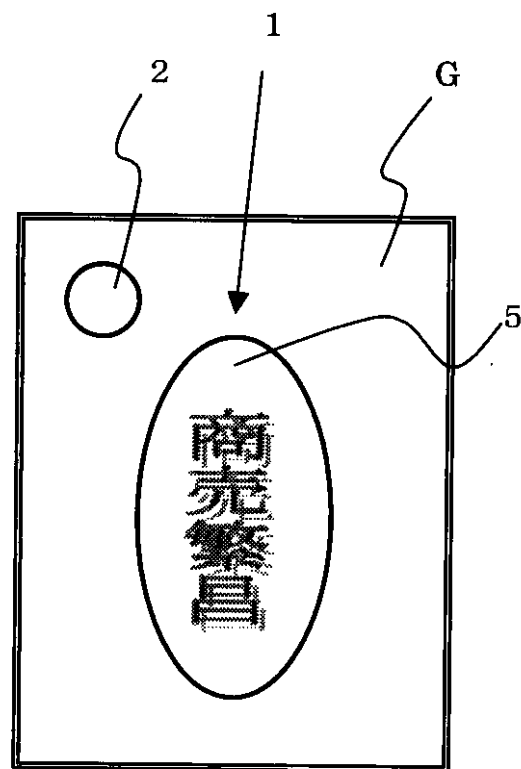
10

20

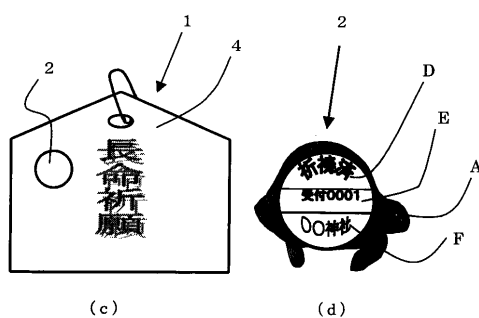
【図 1】



【図 3】



【図 2】



【 図 4 】

